

Sustainability Report

2023



Creating a Better Future

目次

はじめに

サステナビリティへの取り組み

概要

より良い地球のための活動

エネルギー消費の削減

水の利用とリサイクルの効率化

持続可能な廃棄物管理

キャンパスにおける生物多様性の向上

より良い人々のための活動

ハラスメントのない職場の確保

社員の成長を促す

- トレーニングおよび能力開発プログラム
- オンサイトでの機会創出
- 組織横断的なエクスポージャーの推進

施設とアメニティの提供

- 物理的インフラ
- 社員のつながりと社会的包摂

より良い地域社会のための活動

学生の教育経験を向上させる

データプライバシーの保護

地域社会のための支援プログラム

はじめに

SCII では、ビジネスが周囲の世界に与える影響が大きいことを認識しています。倫理的かつ責任ある実践に取り組む先進的な企業として、当社はその使命を国連の持続可能な開発目標（SDGs）と一致させることを誇りに思っています。国連 SDG の 17 の相互関連した目標は、貧困、不平等、気候変動、環境悪化などの重大な地球規模の課題に対処する、より持続可能で公平な未来への青写真を表しています。

私たちの目標は、経済、社会、環境の 3 つの側面において、バランスのとれた統合的な方法で持続可能な開発を達成することに焦点を当てています。これらの目標は、地球を保護しながら繁栄を促進するための行動をすべての国に求めており、貧困撲滅、経済成長教育、健康、社会的保護、気候変動、環境保護などの幅広い問題をカバーしています。

私たちは、持続可能な開発の原則を事業戦略に組み込むことで、地球とそこに住む人々の幸福に貢献するだけでなく、私たちの回復力、革新性、そして長期的な成功を強化できると信じています。SCII は、気候変動、開発のためのテクノロジー、多様性、インクルージョン、地域社会への貢献、社員の能力開発と成長、倫理と透明性、データプライバシー、情報管理といった分野における長年のコミットメントに重点を置いています。

私たちは、環境にやさしく、社会的責任を果たし、倫理的に健全な方法で事業を行うことに専心しています。私たちは、利益を追求するだけでなく、社会と環境にプラスの影響を与えることを目指し、目的主導型のアプローチを採用しています。

SCII では、持続可能性は単なる目標ではありません。

これは当社の事業運営に組み込まれた基本原則です。

一緒に、より持続可能で公平な未来に向けた旅に乗り出しましょう。

サステナビリティへの取り組み

SCII では、ポジティブな変化を生み出し、持続可能な未来に貢献する、ビジネスの変革力を信じています。持続可能性に対する当社の取り組みは、単なる企業の取り組みではありません。それは私たちが誰であるか、そして私たちがどのように活動するかの基本的な部分です。

環境管理アプローチ: 当社は責任ある生産慣行、リサイクルへの取り組み、循環経済の推進を通じて廃棄物を最小限に抑えることに専念しています。当社はエネルギー効率の高い実践に投資し、継続的に業務を最適化しています。


コミュニティへの関与アプローチ: 持続可能性に対する当社の取り組みは、当社が提供する製品とサービスにも及びます。私たちは、環境と社会にプラスの影響を与える革新的なソリューションを継続的に模索し、実行します。私たちは、事業を展開するコミュニティと積極的に関わり、貢献します。私たちの取り組みは、国連の持続可能な開発目標に沿って、教育、健康、社会経済開発に重点を置いています。

社員が愛着を感じるためのアプローチ: 私たちは社員に持続可能性に貢献するための知識とツールを提供します。トレーニング プログラムと意識向上キャンペーンは、責任の共有という意識を育みます。私たちは社員が前向きな変化の触媒となることを奨励します。持続可能性を促進するアイデアや取り組みは歓迎され、サポートされます。

SCII では、環境、社会、経済的配慮に取り組む総合的なアプローチを採用することで、私たちの周囲の世界に永続的なプラスの影響を生み出すことを目指しています。私たちは、現在および将来の世代の利益のために、ビジネスと持続可能性が密接に連携する未来を一緒に形作っています。

概要

目標	現状	国連 SDGs
<p>より良い地球のための活動： 環境に配慮した実践可能な取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 白熱電球の 25 % を LED に切り替え ✓ サーバルームとデータセンターの最適化と定期メンテナンス ✓ 社員への電力管理の奨励 ✓ 雨水収集システム全体の定期検査 ✓ 定期的な貯水タンクの清掃とゴミの除去 ✓ 下水処理水と回収水の水質モニタリング ✓ 認可されたリサイクル業者を通じて処理することで、電子廃棄物が埋め立て地に送られるのを制限 ✓ リサイクル、または不使用によるその他廃棄物の削減 ✓ 2023 年に花と果実の植物を 20%植える ✓ 自生植物の定期的なメンテナンス 	
<p>より良い人々のための活動： 将来の必要性に備え、現在のスキルと経験を高める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 安全な環境を構築するために POSH 法の定期的な啓発プログラムを実施 ✓ すべての女性社員に平等な機会を与える ✓ スキルギャップを定期的に発見して社員をトレーニングする ✓ スキル向上とスキルギャップを埋めるために複数のトレーニング（オンラインおよびオフライン）を実施 ✓ SCII のほぼすべてのリーダーが日本の親会社に将来のニーズを理解するために訪問 ✓ 数名の社員が日本の顧客と長期にわたって仕事をする機会を得た ✓ KSC (親会社、東京) の社員が異文化体験のために SCII を訪問 ✓ 勤務場所の柔軟性、数人の社員にリモートワークの機会を与える ✓ サポートチームがスタッフの技術的なニーズに対応 ✓ すべての社員に提供されるレクリエーション、運動、およびリフレッシュ施設 	

目標	現状	国連 SDGs
<p>より良い地域社会への活動：社会に前向きな変化をもたらすための尽力する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 政府の NAT プログラムと協力し、候補者の 7% を実習プログラムに積極的に採用 ✓ 研修プログラム終了後の NATs プログラム受講生の 100%採用 ✓ 近隣のほぼすべての大学生に、企業視察を通じて理論と実践のギャップを埋め、企業環境の実地体験を提供 ✓ 地元大学との連携範囲を拡大 ✓ 困っている人たちに手を差し伸べる ✓ 環境の持続可能性に関する支援と認識を、近隣の学校や支援センターに拡大 ✓ 最高レベルの情報プライバシーとセキュリティを継続的に実践 ✓ IMS-PMS トレーニングを全社員に実施し、6 か月ごとに更新 	

より良い地球のための活動

一環境に配慮した実践への取り組み



すべての人が手頃な価格で信頼性が高く、持続可能な最新のエネルギーを確実に利用できるようにする

- 7.1.1 2030年までに、安価で信頼できる近代的なエネルギー・サービスへの普遍的アクセスを確保する
- 7.1.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に増加させる
- 7.1.3 2030年までに、エネルギー効率の改善率を世界全体で2倍にする



すべての人が水と衛生設備を利用できるようにし、持続可能な管理を確保する

- 6.3.1 2030年までに、汚染を削減し、投棄を排除し、有害な化学物質や材料の放出を最小化し、未処理の廃水の割合を半減し、リサイクルと安全な再利用を世界的に大幅に増加させることにより、水質を改善する
- 6.3.2 2030年までに、水不足に対処し、水不足に苦しむ人々の数を大幅に削減するため、全てのセクターにおいて水利用効率を大幅に向上させ、淡水の持続可能な取水と供給を確保する
- 6.b 水と衛生管理の改善における地域コミュニティの参加を支援し、強化する



持続可能な消費と生産パターンの確保

- 12.2 2030年までに、天然資源を持続的に管理し、効率よく使えるようにする
- 12.4 2020年までに、合意された国際的枠組みに従い、化学物質とすべての廃棄物のライフサイクルを通じた環境的に健全な管理を達成し、人の健康と環境への悪影響を最小限に抑えるため、大気、水、土壌への放出を大幅に削減する
- 12.5 2030年までに、予防、削減、リサイクル、再利用を通じて廃棄物の発生を大幅に削減する



気候変動とその影響に立ち向かうための緊急行動をとる

- 13.3 気候変動の緩和、適応、影響緩和、早期警報に関する教育、啓発、人的・制度的能力の向上
- 13.b 発展途上国及び小島嶼開発途上国において、女性、若者、地域社会及び周縁化されたコミュニティに焦点を当てることを含め、効果的な気候変動関連の計画及び管理のための能力向上のためのメカニズムを促進する

「より良い地球への活動」は、環境管理、生態学的責任、より健全な地球の促進への取り組みを要約した、説得力のある包括的な持続可能な目標として機能します。当社の目標は、より広範な持続可能性への取り組みと一致しており、地球の幸福に積極的に貢献しながら、環境への影響を軽減するという企業の取り組みを反映しています。私たちは、地球の未来を形作る上で重大な責任を負っていることを理解しています



エネルギー消費の削減

当社は、最大限の効率を達成することを目的として、業務からオフィススペースに至るまで、業務のあらゆる側面にわたってエネルギー使用を最適化することに取り組んでいます。エネルギー消費量の削減は、環境、経済、社会にプラスの影響を与える可能性がある、重要かつ賞賛に値する持続可能な目標です

現在の実績

- ✓ 白熱電球の 25%を LED に交換.
- ✓ サーバルームとデータセンターの最適化と定期メンテナンス
- ✓ 社員への電力管理の奨励

SCII は、白熱電球や管球を効率的で長寿命の LED 照明に交換することで、目標 7.3「エネルギー消費の効率化」に貢献しています。現段階では、ほぼ 25%の照明を LED 電球に交換しています。

LED 照明は、白熱電球よりもエネルギー効率が高い。同じ量の光を生み出すのに消費する電力が大幅に少なく、エネルギー消費の削減につながります。そのため、電気代が安くなり、エネルギー生産に必要な全体的な需要が減少します。LED 電球は数万時間使用できるため、交換頻度が少なく、廃棄される電球の量も少なくて済む。これは、白熱電球から LED への移行という SCII の環境に配慮した決定である。LED は、微量の水銀を含むことが多い白熱電球に比べて、有害物質の含有量が少ない。水銀は適切に廃棄されなければ、環境に悪影響を与える可能性がある。一方、LED 照明は一般的に安全で、リサイクルも容易であると考えられている。全体として、白熱電球から LED 照明への移行は、エネルギー効率を促進し、環境への影響を減らし、長期的に経済的な利益をもたらすことで、持続可能性の目標に合致している。より環境にやさしく、エネルギー意識の高い照明ソリューションの実現に向けた、実践的で効果的な一歩である。

当社では、サーバー ルームとデータ キャンターの冷却と換気に関するベスト プラクティスを導入し、機器の冷却に必要なエネルギーを削減します。当社では、エネルギー効率の高い冷却システムを使用し、空気の流れが最適になるようにサーバー ラックを配置し、サーバー ルームの温度設定を効果的に管理します。当社はエネルギー監査を実施し、IT インフラストラクチャ、データセンター、オフィス スペース内のエネルギーの無駄や非効率の領域を特定します。

また、使用していないときは照明や電子機器の電源を切るなど、社員に責任あるエネルギー消費習慣を奨励している。



水の利用とリサイクルの効率化

水は有限な資源であり、世界人口の増加や産業活動の活発化に伴い、水資源を責任を持って管理する必要が高まっている。水利用の効率化を達成し、効果的な水リサイクル対策を実施することは、環境の持続可能性、経済の持続可能性、そして社会の幸福に貢献する。

現在の実績

- ✓ 雨水収集システム全体の定期検査
- ✓ 定期的な貯水タンクの清掃とゴミの除去
- ✓ 下水処理水と回収水の水質モニタリング

今年、SCII は、長期的な持続可能性と有効性を確保する上で重要な側面である雨水収集システムと下水処理場のメンテナンスに焦点を当てました。どちらのシステムも、持続可能な水の管理、保全、環境保護において重要な役割を果たします。雨水収集システム全体の検査を実施し、問題を迅速に特定して対処しました。また、パイプラインの漏れ、詰まり、損傷、水モーターの修理、貯蔵タンクも検査しました。雨水の効率的な流れを妨げる可能性のある落ち葉、堆積物、その他の物質の除去を実施しました。



下水処理プロセスの定期的なモニタリングを実施し、排水が放流前の環境基準を満たしていることを確認するため、定期的に PH テストを実施している。下水処理施設は定期的にメンテナンスされています。ポンプ、エアレーター、ブロー、その他の機器が効率的に稼動するよう、定期的なメンテナンスを予定していました。また、スペアパーツの在庫にも目を配り、適時に交換できるようにしています。

廃棄物、特に電子廃棄物の不適切な処理は、環境汚染につながる可能性があります。多くの電子機器には、適切に扱わないと土壌や水を汚染する可能性のある有害物質が含まれています。リサイクルにより、これらの有害物質が環境に流入するのを防ぎます。

現在の実績

- ✓ 認定リサイクル業者を通じて処理することで、電子廃棄物が埋め立て地に送られるのを制限する
- ✓ リサイクルや使用量削減によるその他の廃棄物の削減する

当社の電子機器廃棄物は、適用される法的要件に沿って分別され、認定リサイクル業者に渡されます。これにより、より多くの割合の電子機器廃棄物がリサイクルまたは処理され、埋立地に到達することはありません。



Compost formation from dry leaves & organic wastes



使い捨てプラスチックは環境汚染に大きく影響している。ポリ袋、ストロー、容器、プラスチック皿、コップなどの使い捨てプラスチック製品の使用を削減する努力により、今年度は効果的に最小化することができました。

オフィス内で発生するボトルやその他のリサイクル可能な品目は、労働者に提供され、労働者はこれらを販売することで利益を得ている。この取り組みにより、リサイクル可能な物品が埋立地に入るのを防ぐと同時に、労働者の収入にもなっている。

現在の実績

- ✓ 2023年に継続的に花と果実を植栽
- ✓ 自生植物の定期的な手入れ

私たちは、荒廃した土地の修復、在来植物の再導入、より多くの花や果樹の導入に重点を置いています。開花植物や果樹はミツバチや蝶などの花粉媒介者を引き寄せ、地域の生物多様性を高めます。これは生態系の健全性を促進し、環境全体のバランスにも貢献します。鳥や小型哺乳類は食物源として果物に依存しており、健全で多様な生態系の維持に役立っています。今年も継続的、花と果実を植栽しました。開花植物はキャンパスの美的魅力を高め、視覚的に楽しい環境を作り出します。



果物の植栽により生物多様性の向上

土壌の肥沃度を維持するために、合成肥料ではなく、たい肥、堆肥、腐葉土を使用しています。2021年以降、私たちは廃棄物の分別プロセスを継続し、すべてのグリーン廃棄物がキャンパ内で堆肥化され、リサイクルされるようにしています。



花の植栽による生物多様性の向上

より良い人々のための活動

ー将来のニーズに備えて、現在のスキルと経験を高める



持続的、包摂的、持続可能な経済成長、完全かつ生産的な雇用、すべての人のための働きがいのある人間らしい仕事を促進する。

- 8.2 商品やサービスの価値をより高める産業や、労働集約型の産業※を中心に、多様化、技術の向上、イノベーションを通じて、経済の生産性をあげる
- 8.5 2030年までに、若い人たちや障害がある人たち、男性も女性も、働きがいのある人間らしい仕事をできるようにする。そして、同じ仕事に対しては、同じだけの給料が支払われるようにする
- 8.6 2020年までに、仕事も、通学もせず、職業訓練も受けていない若い人たちの数を大きく減らす
- 8. b 2020年までに、若い人たちの仕事についての世界的な戦略をつくって実行する



包括的で公平な質の高い教育を確保し、すべての人の生涯学習の機会を促進する。

- 4.3 2030年までに、すべての人が、男女の区別なく、無理なく払える費用で、技術や職業に関する教育や、大学をふくめた高等教育を受けられるようにする
- 4.7 2030年までに、教育を受けるすべての人が、持続可能な社会をつくっていくために必要な知識や技術を身につけられるようにする。そのために、たとえば、持続可能な社会をつくるための教育や、持続可能な生活のしかた、人権や男女の平等、平和や暴力を使わないこと、世界市民としての意識、さまざまな文化があることなどを理解できる教育をすすめる



強靱なインフラを構築し、包括的で持続可能な産業化を推進し、イノベーションを促進する。

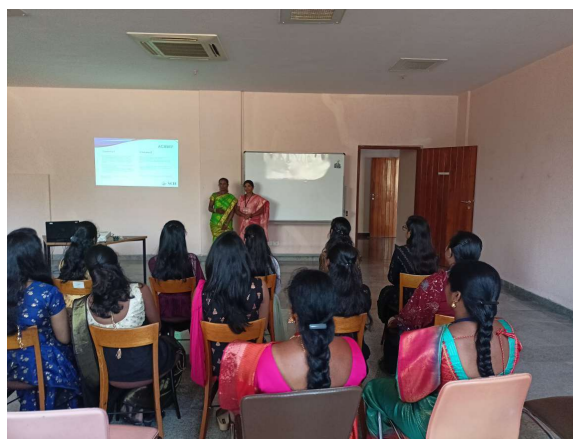
- 9.1 すべての人のために、安くて公平に使えることを重視した経済発展と福祉を進めていけるように、質が高く、信頼でき、持続可能な、災害などにも強いインフラ※をつくる。それには、地域のインフラや国を越えたインフラも含む
- 9.2 だれも取り残されない持続可能な産業化※1 をすすめて、2030年までに、それぞれの国の状況に応じて、雇用と国内総生産（GDP）※2 に占める農業や漁業など以外の割合を大きく増やす。もっとも開発が遅れている国については、その割合を2倍にする
- 9.4 2030年までに、イノベーション※をすすめたり、研究や開発の仕事をしている人の100万人あたりの人数を大きくふやしたり、政府と民間（会社など）による研究や開発への支出をふやしたりして、開発途上国をはじめとするすべての国で、さまざまな産業での科学研究をすすめ、技術能力をのばす

SCII は、施設やアメニティを提供することで、社員の成長と定着を促し、社員の潜在能力を最大限に引き出します。これが会社の業績につながり、イノベーションと顧客中心の卓越性という新たな高みに到達するのに役立っている。SCII は社員の福利厚生を最優先しており、前向きな職場文化を醸成し、人材を惹きつけ、長期的な成功に貢献する弾力的で意欲的な労働力を構築する可能性が高い。



ハラスメントのない職場の確保

SCII は、心理的、言語的、身体的虐待を含むあらゆる種類のハラスメントのない職場環境を推進し、すべての社員を尊重します。社員には、言論や意見の自由が与えられています。SCII は、応募希望者を含むすべての社員が、透明、公正かつオープンな方法で競争できる雰囲気づくりに専念する。選考プロセスにおいて使用される要素は、業績、資格、能力におけるメリットのみである。必要に応じて、SCII は社員の自由な結社の法的権利を支援します。



POSH 啓発トレーニング・プログラム

現在の実績

- ✓ 安全な環境を構築するための POSH 法に関する定期的な啓発プログラム
- ✓ すべての人に安全で健康的な環境を
- ✓ すべての女性社員に対する機会均等

SCII では、多様なスタッフを擁することを重視しています。当社は、公平な雇用機会を提供し、すべてのスタッフに尊厳と敬意が与えられる包括的な労働環境を促進することに専念しています。当社は年に3回 POSH 意識向上研修プログラムを実施し、すべての人にとって安全で健康的な環境の構築に努めてきました。当社は、女性がチームリーダー、プロジェクトリーダー、管理職としての役割に就くことを奨励し続けています。



社員の成長を促す

SCIIは、社員の成長を促すことに注力しています。これは、個人の成長と組織全体の成功の両方にとって非常に重要なことです。私たちは、社員の成長のためのロードマップを定義し、それぞれの役割や将来の機会において卓越するために何が必要かを理解する手助けをしました。私たちは、社員の長所や改善点を特定し、キャリア目標や組織のニーズを達成するためのステップとタイムラインの概要を示すことに取り組んでいます。私たちは今年、社員の成長を促進するためにいくつかの戦略を適用しました。各社員のスキル・マトリックス計画、社員向けの継続的なトレーニング・プログラム、数名の社員に対する現場での機会提供、将来的な他の社員のための計画などを実施しました。

現在の実績

- ✓ 定期的にスキルギャップを発見し、社員を訓練する
- ✓ スキルの向上とスキルギャップの解消のため、オンラインとオフラインのトレーニングを実施
- ✓ SCIIのほぼ全リーダーが、東京にある親会社（KSC）を訪問
- ✓ 数名の社員が日本の顧客と長期にわたって仕事をする機会を得た

トレーニングおよび能力開発プログラム

今年 SCII は、テクニカルスキルとソフトスキルの両方を強化するトレーニング・プログラムに投資した。これにはワークショップ、セミナー、オンラインコース、OJTなどが含まれます。トレーニングは、社員のキャリアゴールや組織のニーズに沿ったものになっています。私たちは、育成プロセスを標準化するために、さまざまなスキルについて社員を訓練してきました。継続的な学習を重視する環境を育成した。社員が知識や経験を共有することを奨励し、誰もが互いに学び合う文化を促進した。



スキルアップのための技術研修プログラム

オンサイトでの機会創出

新型コロナウイルス感染症流行後の 2023 年、SCII の社員には短期および長期のオンサイト勤務の機会が与えられ、社員と組織の両方に大きな利益をもたらしました。これらの機会には、社員が通常の職場以外の場所、多くの場合、別のオフィスや顧客先で働くことが含まれていました。SCII の社員は、専門能力の開発、人脈作り、文化体験、個人の成長、スキルの多様化、キャリアの向上において恩恵を受けました。オンサイト勤務の機会は、グローバルなコラボレーション、人材維持、文化的能力、社員の関与、知識の伝達など、さまざまな面で SCII に利益をもたらしました。



現地視察（日本の親会社：KSC）

現地で仕事をする事で、社員はより広範なプロフェッショナルネットワークを構築することができます。異なる拠点の同僚と交流し、多様なチームと協力し、SCII だけでなく社員の将来の成長にとっても貴重な人脈を築くことができる。



SCII 社員の日本訪問

社員の文化的な知性と柔軟性が日本文化に触れることで向上し、今日のますますグローバル化する労働力において有益である。プロジェクトのニーズに基づいて、現地の機会を通じて人材を特定の場所に配置し、必要な場所とタイミングで適切なスキルを利用できるようにした。

組織横断的なエクスポージャーの推進

組織内で部門横断的な交流を促進することは、コラボレーション、イノベーション、社員の成長を促進する強力な戦略です。

SCII は、社員が部門横断的なプロジェクトに取り組む機会を提供しています。今年、社員は KSC の社員とチームを組んで仕事をする中で、スキルの幅を広げ、組織内のネットワークを広げ、将来のリーダーとしての役割に備えることができました。



日本人社員との活動に参加

現在の実績

- ✓ KSC（親会社、東京）の社員が SCII を訪問し、異文化体験をした
- ✓ 組織内だけでなく近隣の大学や企業とも異文化交流活動を行った

私たちは、異なる部署、異なる拠点、または機能分野のメンバーで構成されるチームを作っています。これらのチームは特定のプロジェクトに共同で取り組むことができ、コラボレーションと知識の共有を促進しています。

また、さまざまな部署の SCII 社員や KSC 社員が参加するトレーニングセッションやアクティビティを企画しました。これらのセッションは、さまざまな職務に関連する特定のスキルを開発する上で社員にとって非常に効果的であり、継続的に学習する文化を育んでいます。また、近隣の大学生を訪問し、インド人と日本人の文化交流を行いました。



異文化理解アクティビティ



施設とアメニティの提供

社員に施設やアメニティを提供することは、前向きで協力的な職場環境を作る上で重要な要素である。これらのサービスは、社員の満足度、福利厚生、社員の定着率、生産性の向上に貢献します。SCII は、社員からの定期的なフィードバックをもとに、各組織が社員の具体的なニーズや嗜好に合ったサービスを提供できるよう支援しています。

現在の実績

- ✓ 数名の社員にはリモートワークの機会を提供し、勤務地の柔軟性を確保
- ✓ スタッフの技術的なニーズに対応するサポートチーム
- ✓ 社員の学習意欲を高めるサポート環境
- ✓ 全スタッフに提供されるレクリエーション、エクササイズ、気分転換できる施設

物理的インフラ

SCII は、すべての社員が、会社において業務を効率的に遂行するために必要なインフラや施設を利用できるようにします。SCII は、建物やキャンパスの構造、家具、設備、サービスなどの物理的なインフラが、アクセシビリティガイドラインに準拠していることを保証します。快適なワークスペース、設備の整った会議室、カフェテリア、便利で安全な駐車場など、共用施設やアメニティにも配慮しています。

SCII はまた、効率的な業務プロセスをサポートするため、信頼性の高い高速インターネット接続を確保する技術にも配慮しています。SCII には専門のネットワークチームがあり、技術関連の改善に継続的に取り組んでいます。ネットワークチームは、コンピューターやソフトウェア、その他の技術ツールに関するあらゆる問題に対応できるよう、常に待機しています。

社員のつながりと社会的包摂

社員の意欲と社会に参加する機会は、組織内の持続可能な発展に不可欠な要素である。この原則を尊重し推進する職場環境を育成することで、組織は社員の福利、生産性、長期的な成功を高めることができる。

SCII は、意欲の高い社員は生産性が高く、組織に積極的に貢献すると考えています。社員は自分の職務以上のモチベーションを持ち、効率の向上につながります。今年も社員が参加し、一緒に取り組んだイベントがたくさんありました。



社員参加のレクリエーション活動

今年、社員が参加し、社員同士が交流するようなイベントを計画し、よく考えながら実施しました。どのイベントもチームビルディングの場となり、チームメンバー間のより強い関係を育み、より協力的で団結力のある職場環境に影響を与えました。

より良い地域社会のための活動

ー 社会にポジティブな変化をもたらすことへの貢献



持続可能な開発のための実行手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

- 17.7 開発途上国に対して、環境にやさしい技術の開発や移転、普及をすすめる。そのとき、互いに合意した、開発途上国にとって有利な条件のもとですすめられるようにする。
- 17.14 持続可能な開発のために、一貫した政策がとられるように強化する
- 17.17 さまざまなパートナーシップの経験などをもとにして、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップをすすめる



持続可能な開発のために平和的で包摂的な社会を促進し、すべての人に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任を果たし、包摂的な制度を構築する

- 16.5 あらゆる形の汚職や贈賄※を大きく減らす
- 16.6 効果的なはたらきができ、そのはたらきについて十分な説明ができ、だれにでもそのはたらきの内容や過程がわかるような公的な機関を、あらゆるレベルで発展させる



あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困をなくす

- 1.a 開発途上国、特に最も開発が遅れている国で、「貧しさ」をなくすための計画や政策を実行しているよう、いろいろな方法で資金をたくさん集める
- 1.b それぞれの国や世界で、貧しい人たちのことや男女の違いなどをよく考えて政策をつくり、「貧しさ」をなくすためのとりくみにもっと資金などを増やして取り組めるようにする
- 1.b.1 貧困削減のための公的社会支出



学生の教育経験を高める

教育経験を向上させるという私たちの取り組みは、現在も続いています。私たちは、生徒が学習プロセスの中心に位置し、協力し合うことで、学業面、職業面、そして個人面において優れた能力を発揮できるようになると信じています。

現在の実績

- ✓ 近隣のほぼすべての大学生に、企業視察を通じて企業環境を直接体験してもらう。
- ✓ 地元の大学との協力範囲を拡大
- ✓ 政府の NATs プログラムと協力し、実習プログラム候補者の 7%を積極的に採用
- ✓ トレーニング・プログラム終了後、NATs プログラムの学生を 100%採用。

企業視察を通じた教育経験の向上

SCII の主な目的は、学生に企業環境を実際に体験してもらい、理論と実践のギャップを埋めることである。このような企業訪問は、業界の業務、トレンド、課題に対する学生の理解を深める上で、非常に貴重なものであることが証明されています。

学生は実際の企業業務を目の当たりにし、様々な業界とその機能について見識を深める機会を得ることができます。私たちは、学生と業界のプロフェッショナルとの交流を促進し、将来のキャリアに役立つ人脈作りの機会を作ることを目指しています。プロフェッショナルは、自身の経験を分かち合い、キャリア・アドバイスを提供し、企業の状況をナビゲートするためのガイダンスを提供します。

すべての企業視察において、私たちはこれらの分野に重点を置いている：

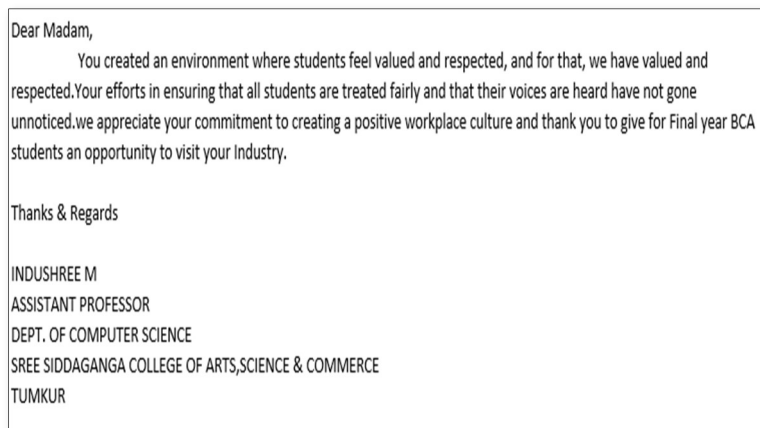
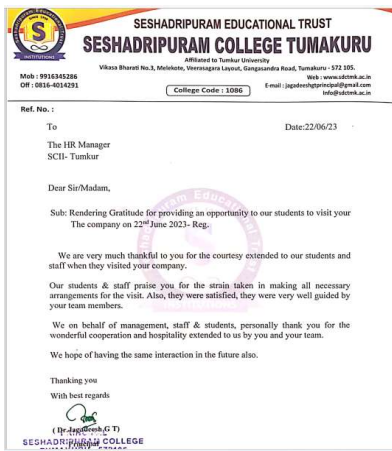
- 業界の見識に触れる
- 人材交流の機会
- 実践的な学習
- キャリアガイダンス

卓越した教育を育成し、明日のプロフェッショナルに実践的な見識を提供するという当校の継続的なコミットメントの一環として、当校では専門カリキュラムの全分野で企業視察を実施する準備が整っています。今年度は、近隣のすべての大学から 8 回以上の企業視察があり、約 700 名の学生が企業視察に参加しました。



SCIIでの企業視察

SCIIは、企業視察について大学から肯定的なフィードバックを得ています。肯定的なフィードバックは、訪問が成功し、参加した学生に貴重な洞察や経験を提供したという強い指標となります。様々なカレッジが、ポジティブなコメントという形で感謝の意を表し、企業視察の重要な点を強調しています。



企業視察のお礼状

多様性を受け入れることで教育経験を高める

私たちの親会社の社員（日本人）がインドの文化、インドの教育システム、社会的背景を理解することができるようです。今年 SCII は、KSC の社員が年に 2 回、文化交流プログラムのために教育機関を訪問することを計画しました。これにより、生徒たちはグローバル化と社会的責任感を養うことができる。



大学生との交流活動

政府 NATs プログラムによる教育経験の向上:

National Apprenticeship Training Scheme は、インドの若者を職業訓練分野でスキルアップさせるための、インド政府の主要プログラムの 1 つです。この制度は、大学院生、ディプロマ取得者、職業資格取得者に、6 ヶ月から 1 年の期間で、実践的な実地訓練（OJT）に基づく技能習得の機会を提供するものである。見習いプログラムでは、訓練を受けながらソフトスキル、労働文化、倫理、組織行動などを学ぶこともできる。

私たちは雇用主として、このプログラムに 7%の学生を登録し、技術スキルに関する実践的な実地訓練を提供してきました。NATs トレーニングプログラム終了後、SCII は NATs トレーニングを受けた学生をほぼ全員採用しました。



データプライバシーの保護

SCII は、顧客やサプライヤーのデータ、および社員（退職者や元社員を含む）のプライバシーの保護に努めています。データ保護とプライバシーのための当社の現在のアーキテクチャは、多層のパスワードで保護された認証システム、自動化されたツールと追跡システム、監査、および知る必要のある情報の共有で構成されています。法律で義務付けられている場合を除き、利害関係者の明示的な同意なしに第三者に情報を漏らすことは決してありません。

現在の実績

- ✓ 最高レベルの情報プライバシーとセキュリティを実践し続ける
- ✓ IMS-PMS トレーニングを全社員に実施し、6 カ月ごとに更新する

お客様、会社、そして社員のデータを守ることは、私たちの最も基本的な責任のひとつです。私たちはこの課題に真剣に取り組んでいます。そのため、すべての新入社員は、入社後 1 週間以内に、社内での役割にかかわらず、情報管理システム（IMS）と個人情報保護マネジメントシステム（PMS）の研修を受けなければなりません。

IMS-PMS のトレーニングでは、顧客や社員の機密データにアクセスする際の適切な行動について指導されます。これには、脅威の特定、リスクの軽減、その他の情報セキュリティ・プロトコルを通じたテクノロジーと情報の保護が含まれます。トレーニングは全社員を対象に 6 カ月ごとに繰り返し実施され、全部門が毎年そのパフォーマンスについて監査を受けています。

私たちは、ガバナンスと倫理が強固で安定した持続可能な組織の礎であると考えています。私たちは、誠実さと透明性によって業績が促進され、信頼と共感によってパートナーシップが促進されるよう努めています。これらの価値観を堅持することで、私たちのビジネス慣行は、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある制度を発展させるという国連 SDGs 目標 16.6 と密接に連携しています。



地域社会のための支援プログラム

持続可能な開発目標（SDGs）1.b.1 貧困削減のための公的社会支出とは、経済的に不利な立場にあり、社会的に弱い立場にある人々のために特別に作られた政府支出を指す。その目的は、貧困を削減し、社会的公平を促進し、恵まれない人々の全体的な幸福を向上させることである

現在の実績

- ✓ 困っている人々に手を差し伸べるために、私たちの手を広げる
- ✓ 環境の持続可能性に関する支援と認識を、近隣の学校や支援センターに広げた

この SDGs に沿って、SCII は困っている人たちに手を差し伸べ、基本的なことを手助けできるようなイベントをいくつか計画した。



孤児院での子供たちとの交流や教材の配布

今年、私たちは児童養護施設と高齢者施設で「優しさの日」のイベントを実施し、子供たち全員とアクティビティを通じて優しさの大切さを分かち合いました。私たちは彼らに食べ物や必要なもの、教材を配った。このようなイベントは、地域社会の感覚を育み、幸福を促進し、世界的な持続可能性のアジェンダに沿って社会的不平等に対処している。



高齢者に必要なものを配布

また今年も、持続可能な開発目標（SDGs）、特に目標 4（質の高い教育）と目標 13（気候変動対策）に貢献する素晴らしい方法として、学校で環境意識向上プログラムを実施しました。持続可能な実践について生徒を教育し、環境を守るために行動するよう促すことで、生徒の間に環境に対する責任感が育まれました。先生たちとともに、私たちも校内で植林を行いました。



近隣の学校で「世界環境デー」を祝う

その他のイベントでも、SCII の敷地内に有用な植物を植えることを奨励しています。植林活動を実施・参加することで、気候変動対策、生物多様性保全、貧困削減といった SDGs の達成に積極的に貢献し、持続可能で強靱な未来を育てていきます。



SCII における各種イベントでの植林



Address: Plot No: Spl-17, Antharasanahalli,
KSSIDC Industrial Area Estate,
2nd Stage, (KSSIDC HandTool Layout),
Madhugiri Road, Arakere Post,
Tumakuru District, Karnataka,
India - 572106
Phone: +91 816-221-1724
Email: info@scii.in